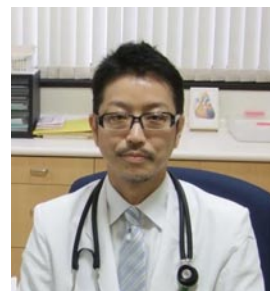
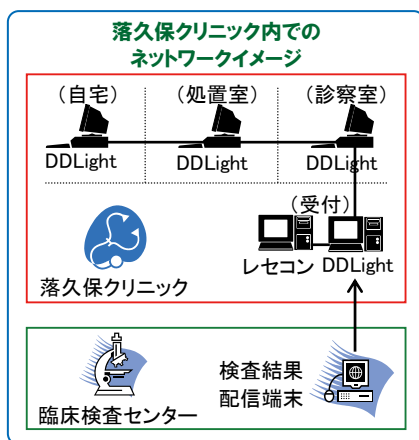


当検査センターオリジナル  
ドクターズ デスク ライト  
**Doctor's Desk Light 誕生**  
(カルテ情報ファイリングシステム)

当検査センターがオンラインによる Doctor's Desk Light (DDLight) を使った検査結果報告を始めて 3 年半が経ちました。その間、120 を超える施設様に DDLight をご利用いただけるまでになり、昨年末にはご利用機関様のご要望から当検査センター独自の DDLight が誕生しました。

この度、DDLight ユーザー様の中から落久保外科循環器科クリニック様に、DDLight のご活用内容についてインタビューさせていただきましたので、以下にご紹介いたします。

**レセコンとの連携で  
さらに便利に！**



【プロフィール】

- おちくぼ ひろゆき  
◆落久保 裕之 先生  
◆落久保外科循環器科クリニック院長  
◆専門：外科、循環器科  
消化器科、呼吸器科  
リハビリテーション科  
◆DDLight 導入：  
平成 20 年 3 月 21 日

●DDLight 導入のキッカケ

知り合いの先生がすでに導入されていましたが、機能については詳しく知りませんでした。

広島市医師会検査センターさんに問い合わせると、検査結果が簡易にグラフ化されるなどの機能を持つ DDLight だとわかり、開業を前に早速導入することにしました。

●DDLight の利便性について

使い始めて約 2 か月が経ちますが、特に大きな不具合もなく、とにかく“軽い（動作が速い）”です。検査結果をリアルタイムで確認できることはもちろんのこと、少ないクリックでグラフ化でき時系列で眺められるので、患者と情報を共有しながら説明・指導するのに大いに役立っています。また、文書作成機能があるため、緊急時の紹介状作成も簡単にできるのでとても助かっています。

現在レセコンと DDLight とを連携させて使っています。前日記録されたレセコン情報を翌朝 DDLight にダウンロードしています。自分独りで短時間でできる上、スタッフの業務量も軽減でき一挙両得です。一部エコー検査画像などの取り込みを自分でする手間はありますが、通常の診療時にはなんら問題なく、非常に便利なツールだと感じています。

パソコン基本操作ができる方なら誰でも使いこなせると思いますので、他の先生方も導入されたらある意味“楽になる”のではないかと個人的には思っています。

●検査センタースタッフの対応について

よくしてもらっています。ただし、基本的にトラブルがないので、それほどスタッフの方をお呼びすることもありません。無料で DDLight を使わせてもらっているだけでもメリットがあります。

**DDLight機能アップ** 

広島市医師会臨床検査センター独自の新しいDDLightをリリースしました。

- ☑初期画面で検査結果の未読、既読がわかる
- ☑エラー修正前の患者データが確認できる
- ☑エラー修正画面での修正がより簡単に
- ☑検査結果もより見やすく

## 1. 検査結果の未読・既読の表示が可能になりました

| 返 | 加番号         | 患者名(力ナ) | 患者名(漢字) |
|---|-------------|---------|---------|
|   | 99999300008 | 伊ノ 03カ  | 井原 ○雪   |
|   | 99999300005 | 伊ノ 04   | 井ノ崎 ○哉  |
|   | 99999300004 | 伊ノ 06C  | 伊藤 ○彦   |
|   | 99999300003 | 伊ノ 01   | 伊藤 ○人   |
|   | 99999300002 | 伊ノ 03カ  | 安部 ○介   |
|   | 99999300001 | 伊ノ 01   | 安部 ○子   |

| 返 | 未 | 加付番号       | 患者名(カナ) | 患者名(漢字) |
|---|---|------------|---------|---------|
|   |   | 9999990001 | アライコ    | 安斎 ○千   |
|   |   | 9999990002 | アノ 034  | 安部 ○介   |
|   |   | 9999990003 | イトウ     | 伊藤 ○人   |
| ● |   | 997654321  | イトイ カサ  |         |
|   |   | 9999990004 | イトウ 010 | 伊藤 ○彦   |

- ・未読の患者様の検査画面を開くと、未読マーク(●)が消えます。
- ・「未」の表題をクリックすると未読・既読で並び替えることができます。

## 2. エラー修正画面で取込前のデータ内容が確認できるようになりました

マスターデータ登録

戻る 次へ 印刷 マスター参照

ファイル名 20090420\_140213\_fff00001.txt

受付日 2006/04/10

登録ID 00000000-0000

カルテNO

患者名(カナ) 田中太郎

患者名(漢字)

データ移行 患者マスター参照データ

カルテNO

患者名(カナ)

患者名(漢字)

患者マスター参照データ

顧客マスタ

基本情報

ファイル名: 2007/01/11\_14740\_0r00001.txt

発行日: 2006/12/10

登録日: 01701021540-001

カルパNo: 007540210

表示名(カナ): (フリガナ)

表示名(漢字):

データ移行

顧客マスタ参加データ

カルパNo: 007540211

表示名(カナ): (フリガナ)

表示名(漢字):

関連マスタ内容

| カルパNo     | 表示名(漢字) | 表示名(カナ) |
|-----------|---------|---------|
| 007540210 |         | (フリガナ)  |

関連マスタ

| カルパNo     | 表示名(漢字) | 表示名(カナ) |
|-----------|---------|---------|
| 007540210 |         | (フリガナ)  |

- ・年齢、検査項目等を参考にエラー修正ができます。

### 3. エラー修正画面から患者マスタを修正できます

[illegible][illegible]

- ・エラー修正画面を閉じることなく患者マスタ修正が可能です。

## DDLight基本機能のご案内

会員様と検査センターを結ぶ検査データツール

### DDLightの誕生経緯

#### ▼先生方のご要望

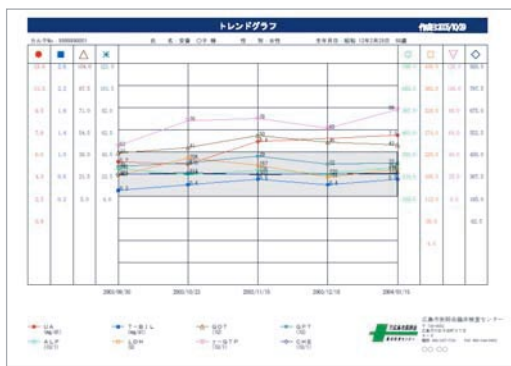
- IT化のコスト・導入期間を極力少なくしたい
- 紙カルテを活用し、対面診療は変えたくない
- レセコンに蓄積された臨床記録を無駄にしたくない
- 電子カルテ導入の前に、試験的なIT化はできないものか



#### 診療支援ツール

#### 検体検査データベース

- 検査センター側のデータをオンラインで取り込み、検査結果を参照できます。



#### 画像データベース

- デジタルカメラ、スキャナで取り込んだ画像を患者単位で管理できます。



## 診療支援ツール

## 医科向け文書テンプレート

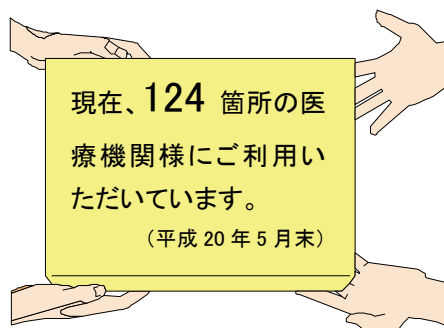
- 紹介状など、医科向け文書を簡単に作成できます。

医療情報管理システム (DDLight) の文書テンプレート。患者情報、診療内容、検査結果などの項目が記載されている。下部には人体の図解と「広島市医師会」のロゴが見える。

## レセコンとの連携

以下のデータが参照可能です。

- 患者情報
- 薬歴
- 処置
- 処方
- 病名
- etc.



DDLightは、  
Windowsパソコン1台あれば  
導入できます。

ただし、Windows Vista は対応しておりません。



**お問合せ先** フリーダイヤル 0120-14-7191 / ダイヤルイン (082)247-7191 [代表]

業務システム課顧客サービス係、あるいは最寄りの営業員までお気軽にどうぞ。